

備前市事務事業評価表

事務事業名	鴻島港整備事業	コード	01-01-13-04
		担当課・係	都市整備課・土木係
		担当者	梶藤
事業実施期間	平成17年度～平成19年度	電話	0869-64-1835
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	港湾・漁港	

事業について	
目的 (何のために)	安全で安心して鴻島港が利用出来るようにするために。
対象 (誰・何を対象に)	鴻島港を利用する船舶・住民
内容	鴻島港の浮き桟橋を可動式に改良する。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
委託業務件数		1 件	
事業費 (単位：千円)	事業費 人件費	財源 国庫補助金等 受益者負担 市債 一般財源等	事業費 10,000 人件費 1,380 国庫補助金等 6,000 受益者負担 市債 4,000 一般財源等 1,380
必要人員	0	0	0.30

結果指標 ①	結果指標名	
	結果指標量	
	単位	
結果指標 ②	対前年比	-
	活動にかかるコスト	円
	単位当たりコスト①	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	台風時の高波により浮き桟橋が使用出来なくなることをなくす。		
成果指標名	0回	式又は説明	浮き桟橋が外れる回数（平成19年度からの累計）
成果指標量	17年度	18年度	
対前年比	-		
到達目標値	0回	到達目標年度	平成28年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 海岸法	妥当性評価<A~E> A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	鴻島と本土を結び交通機関は船舶だけでなく、市が管理する鴻島港は、市が関与することが妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	港湾事業は、事業数も少なく経験機会が少ないため、研修等により知識の向上に努める必要がある。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> A	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値	結果指標量① 工事1件	結果指標量②

総合評価	台風時の高波により度々外れていた浮き桟橋が、事業を行うことにより、外れなくなることで、利用者の安心・安全が図れる。	評価区分 <A~E> A
------	---	--------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果